

## アナログアキュライザーの導入(12)

### —適用箇所の検討(8)—

#### 1. 始めに

前報(11)に引き続き、アナログ再生における適用箇所の検討を行います。

#### 2. アナログアキュライザーの試聴方法

アナログアキュライザーAACU-1000をLINN LP-12のアナログ再生に適用します。アクセサリーの使用条件は前報(9)と同様です。

再生経路は次のとおりです。AACU-1000は、300Bシングルアンプのアナログ入力端子に装着します。

MySonic Signature Gold/Glanz MH-Bt/LP-12→【Phono】→

MySonic Stage1030→【RCA】→Brooklyn DAC+→【RCA】→P&G フェーダー

→【RCA】→AACU-1000→しなの音蔵 300B シングル



音源は、アナログ盤で[LINN LP-12の再構成の確認](#)に使用してきたものです。

#### 3. アナログアキュライザーの試聴結果

上記再生経路において、AACU-1000有無での音質を確認します。

300Bシングルアンプのアナログ入力端子に装着しますと、方向性として前報(11)と同様ですが、効果の程度は、前報(11)の前段階のフェーダーの出力端子と同程度ということになります。しかしながら、フォノイコを通して、アナログ信号化してしまった後の変化はそれほど大きくなく、ケーブルやフェーダーなど、受動的なものですので、どこ

に AACU-1000 を装着しても、さほど変りはなく、満足できるレベルです。

#### 4. まとめ

アンプのアナログ入力端子に装着した効果を認めましたが、前段階のフェーダーの出力端子への装着とほとんど変わりませんでした。

前報(9)からの7ヶ所への適用を実施した結果をまとめますと、次のようになります。

- 1) 7ヶ所のどこに使用しても効果を認める。
- 2) 入力端子と出力端子では、若干入力端子の効果が大きい。
- 3) RCA ケーブルを挟んだ、前段の機器の出力端子と後段の機器の入力端子では、効果の差はない。
- 4) インピーダンスマッチングや高域の減衰が危惧されたステップアップトランスの入力端子やフォノイコライザーの入力端子でも問題なく、むしろ細かい表現力が向上する。

以上